

**平成29年度金沢大学派遣留学生募集要項**  
**(韓国・オーストラリア対象)**  
**[3次募集(春募集)]**

**1. 目的**

本学と学生交流の覚書を締結している海外の大学に本学学生を交換留学生として派遣することを目的とする。

**2. 派遣期間**

3か月以上1年以内

なお、本募集における留学の開始は、原則として平成30年1月から3月までの間とし、派遣先大学の学年暦の最初の学期に合わせることを。

**3. 対象地域**

本学交流協定校のうち、別紙に掲げるもの

**4. 応募資格**

- ① 平成29年4月1日現在、本学の正規の課程に在籍している学生（学域生及び大学院生）（日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度（協定派遣）による派遣留学の場合は、外国人留学生を除く。）
- ② 学業成績が優秀で、人物等に優れている者
- ③ 派遣先大学での学修に支障のない水準の語学力を有する者
- ④ 目的及び計画が明確であり、派遣により十分な成果が期待される者
- ⑤ 留学期間満了後、本学に戻り学業を継続する者
- ⑥ 部局間交流協定校への派遣の場合は、当該部局に所属する者
- ⑦ 英語圏への大学への派遣を希望する者、及び英語を使用する大学への留学を希望する者は、TOEFL-iBT 45点以上、IELTS 5.0以上のスコアを有していること

**5. 応募方法**

『派遣留学の手引き2016』で注意事項を確認の上、以下の書類を揃えて所属する学域・研究科の学務係へ提出すること。また、応募に必要な様式は、すべて『金沢大学派遣留学HP』からダウンロードして用いること。

（金沢大学HPから「派遣留学」で検索。URLは、  
<http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/jp/send/index.html>）

- ① 派遣留学計画書（手書きではなく、パソコンで作成すること。計3ページ。）
- ② 派遣留学候補者推薦書（原則、指導教員又はアドバイザー教員から推薦してもらうこと。）
- ③ 学業成績証明書（大学院生で他大学の学部卒業生及び編入学歴のある学域生のみ必要。1年次からの分。）※本学学域在籍者及び卒業生は不要。
- ④ 語学能力を証明する書類
  - i. 派遣希望大学の使用言語が英語の場合は、『派遣留学の手引き2016』を必ず確認のうえ、2年間の有効期限内のTOEFL-iBTもしくはIELTSのスコアカードの写しを提出すること。（TOEFL-ITPのスコアは受け付けない。）なお、書類提出時にTOEFL-iBT60点もしくはIELTS5.5のスコアに達していない場合は、所定の様式に従って「学習計画書」を作成し提出すること。（参考：平成28年度学内選考通過者（英語）の語学水準は、TOEFL-iBT60点もしくはIELTS5.5以上である。）
  - ii. 派遣希望大学の使用言語が英語以外の場合も、公式に行われる当該言語の検定試験のスコアカード等を可能な限り提出すること。
- ⑤ 誓約書（保証人のサインが必要。）

## 6. 派遣留学のための奨学金（給付型）

奨学金の詳細は、『金沢大学派遣留学HP』又は『派遣留学の手引き 2016』を参照のこと。

※以下の①～②の奨学金を希望する場合は、派遣留学計画書の該当欄に、必ずチェック（✓）を入れること。以下の③の奨学金を希望する場合は、留学から帰国後の修業年限を越える年の4月又は10月に申請すること。

- ① 日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）による奨学金
  - 支給月額：6万、7万、8万、10万円（派遣先地域により異なる。）
  - 対象：日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者 ほか
- ② スタディアブロード奨学金 学域・大学院派遣枠 a
  - 支給金額：JASSO の成績基準を満たす者：JASSO と同額・同じ給付期間  
同上を満たさない者：JASSO と同額を1か月分のみ支給
  - 対象：本学に在籍する正規生（日本国籍を持つ者で、本学と派遣留学制度で学術交流協定を締結する海外の大学へ留学する者、かつ、JASSO 等の外部奨学金を受けられない者。
- ③ 金沢大学学生特別支援制度（アカンサス支援制度）海外派遣留学奨励奨学金
  - 支給金額：半期あたり 25 万円（年額 50 万円）
  - 対象：留学許可を得て海外留学することによって、修業年限（標準修業年限）を超えて在籍する必要が生じた者

## 7. 応募締切

平成 29 年 5 月 10 日（水） 13：00（時間厳守）

※所属する学域・研究科の学務係へ必要書類を提出すること。

## 8. 派遣留学候補者の決定

- (ア) 応募者からの提出書類に基づき書類審査を行い、審査に合格した者に対し、5月下旬頃に面接試験を行う。応募者個人の予定は考慮しないので注意すること。
- (イ) 派遣留学候補者としての採否の決定通知は、7月中旬頃の予定。
- (ウ) 派遣希望大学の使用言語が英語の場合、大学の要求する水準に達しない候補者は、採用が取り消されることもある。

本件問合せ先：国際機構支援室留学企画係 TEL:264-6193 E-mail:studyabroad@adm.kanazawa-u.ac.jp
--

【別紙】平成29年度金沢大学派遣留学生募集(韓国・オーストラリア対象)[3次募集(春募集)] 対象大学一覧

国・地域名	協定大学名	応募の対象となる 学域・研究科等	人数	参考点等
大韓民国	東亜大学	全学	2	学部の授業を受ける場合は、1年以上の韓国語学習歴が必要。ない場合は韓国語講座受講。
	釜山大学	全学	2	英語or韓国語で授業を受けられる語学力が必要
	釜慶大学	全学	5	韓国語に関するスコアがあれば提出。英語で受けられる授業あり。
	湖西大学	全学	2	韓国語能力が高くない場合、文化企画学科で受入可。韓国語の語学コースは授業料負担。
	漢陽大学	全学	2	持っていれば提出 (TOEFL/TOEIC/IELTS/TOPIK)
	金鳥工科大学	全学	2	英語or韓国語で授業を受けられる語学力が必要
	翰林大学人文学部	人間社会学域	2	英語or韓国語で授業を受けられる語学力が必要
	仁荷大学文学部	人間社会環境研究科・人間社会学域	2	英語: TOEFL-iBT57 韓国語: TOPIK Level 2
	蔚山大学医学部	医薬保健総合研究科・医学類	2	韓国語が必要。必要スコアはコースによる。コースによっては英語も必要。
オーストラリア	オーストラリア国立大学	全学	2	IELTS6.5(すべてのセクションで6.0以上) TOEFL-iBT80(すべてのセクションで20以上)
	シドニー工科大学	全学	3	【学部レベルのコース】 IELTS6.5(Writingセクションで6.0以上) TOEFL-iBT79(Writingセクションで21以上) 【Australian Language and Culture Studies】 IELTS5.0(Writingセクションで5.0以上) TOEFL-iBT35(Writingセクションで17以上)
	ニューイングランド大学	全学	2	IELTS6.0(すべてのセクションで5.5以上) TOEFL-iBT79(Writingセクションで22以上)
	チャールズ・ダーウィン大学	全学	1	IELTS 6.0(すべてのセクションで6.0以上) TOEFL-iBT 80(Writingセクションで20以上)
	南オーストラリア大学情報工学・環境工学学群	理工学域(旧工学部分野)	2	IELTS6.0 TOEFL-iBT79

## FAQ 派遣留学応募時のよくある質問（3次募集用）

**Q 1 : オーストラリア等の英語圏の大学を希望する場合のみ、英語のスコアを提出すればよいのか？**

**A 1 :** オーストラリア以外の国へ留学する場合（例：韓国等）も、留学先での使用言語が英語であれば、英語スコアは提出しなければならない書類です。スコアがなければ、書類不備となり、不合格となります。また、TOEFL iBT や IELTS は、結果がでるまでには、時間がかかります。必ず自分で受験日程を調べて、計画的に受験してください。

<http://www.ets.org/jp/toefl/ibt/register>

<http://www.eiken.or.jp/ielts/schedule/>

**Q 2 : 提出する英語のスコアは、オンラインスコアでもよいのか？**

**A 2 :** 正式なスコア（紙媒体）の到着に時間がかかる場合は、オンラインで確認できるスコアを印刷し、提出していただいても構いませんが、名前とスコアが両方確認できるものを提出してください。また、正式なスコア（紙媒体）を提出する場合、本紙ではなくコピーを提出してください。

**Q 3 : 「派遣留学計画書」はどのように作成すればよいのか？**

**A 3 :** 様式を下記 HP からダウンロードし、パソコンで入力したものを印刷して提出してください。

○2 ページ目「5. 派遣留学の目的及び計画等」は以下の書式・内容にしてください。

- ・日本語で記載すること。
  - ・文字の大きさは変えないこと（12 ポイント）
  - ・①～⑤のポイントをすべて含めつつ、かつ全体で 1 ページに収まるようにまとめること。また、箇条書きではなく、文章で作成すること。
    - ①応募理由（なぜ派遣留学に応募したのか）
    - ②派遣留学の目的と達成したい目標
    - ③②の目標を達成するための留学先での学習計画
    - ④派遣留学先の大学でどのような貢献ができるか
    - ⑤帰国後、派遣留学から得た知見・経験をどのように金沢大学に還元できるか。
- ※具体的かつ実現可能な内容を記述すること。

○3 ページ目「6. 志望動機と留学の目的について」は以下の書式・内容にしてください。

- ・派遣留学希望大学において使用予定の言語で作成すること。（「派遣留学計画書 3. 派遣留学希望大学及び留学希望期間」で記載した言語）
- ・文字の大きさは変えないこと（12 ポイント）
- ・英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語は 300 語程度にまとめること。
- ・中国語は 800 文字程度にまとめること。

【様式掲載先】 <http://www-isc.ge.kanazawa-u.ac.jp/jp/send/forms/index.html>

**Q 4 : 「派遣留学の目的及び計画」には、第一希望と第二希望の大学への両方の志望理由を記載すればよいのか。**

**A 4 :** 「派遣留学の目的及び計画」は、第一希望について掘り下げて記載してください。

**Q 5 : 第一希望と第二希望で使用言語の違う大学を志望してもよいか？**

**A 5 :** 1回の募集では、同じ言語を志望してください。同じ使用言語であれば、第一希望と第二希望の国が違って構いません。

- :第一志望 韓国の大学で英語      第二希望 オーストラリアの大学で英語  
×:第一志望 韓国の大学で韓国語      第二希望 オーストラリアの大学で英語

**Q 6 : 派遣留学の奨学金はどうやって申し込めばよいのか。**

**A 6 :** 「派遣留学計画書」の派遣留学計画欄の奨学金の項目で、「希望する」にチェックをいれてください。受給できる奨学金の種類は、大学が各奨学金の条件等を考慮し決定します。オーストラリア・韓国への派遣留学生の日本学生支援機構奨学金及び金沢大学奨学金の受給候補者の決定は、7月～8月頃の予定です。